

事務事業名	伊那谷の自然と文化データベース事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	10	終了	
H27担当課等名	美術博物館	H27係等名	学芸係	H26係等名		学芸係						
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり									
	施策	29	ふるさと意識の醸成									
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民・教育関係者・行政担当者) 2 伊那谷の自然と文化に関する資料・情報および学術図書・雑誌						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 伊那谷の自然と文化に関する資料・情報をデータベース化する。2 学術図書・雑誌を登録して学習室へ配架する。3 データベースと図書・文献を利用者に提供する。							圏域住民数(人)	164580		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)							本館が所蔵する登録資料の総数(点)	110000		
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	ホームページで公開したデータベースの数(件)			4	3	3	3				
	成果指標	学術図書の登録数(点)			39000	42439	46000	49000				
定性目標												
事業概要	<p>1 伊那谷の自然と文化(美術・人文・自然)に関する資料・情報をデータベース化する</p> <p>2 市民・研究者が利用できるようにデータベースを公開するとともに、クラウドを利用した新たな公開方法を研究する</p> <p>3 学術専門図書・雑誌を公開する</p> <p>4 伊那谷の自然と文化に関する問い合わせ(レファレンス)への対応を行う</p>											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 美博資料・情報・文献に関するデータベースを作成し、データを登録する 2 データベースサーバ老朽化のため文献等一部のデータベース公開を一時休止した。今後、市民・研究者が利用しやすい新たなデータベースを検討する 3 学術専門図書は図書館蔵書管理システムにて管理し、雑誌は美博図書データベースで管理する 4 図書室を土・日・祝日に開室して、市民に公開する 5 民間が提供しているクラウド型収蔵品管理システムを研究する				1 作成したデータベース数 2 年間新登録図書数 3 図書室の年間開室日数				1 12点 2 3,797点 3 112日			
	事業コスト				25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
	事業費計(千円)①				1,664	1,691	1,471	1,595				
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源				1,664	1,691	1,471	1,595					
人件費計(千円)②				0		0						
正規職員所要時間												
臨時職員所要時間												
総事業費①+②				1,664	1,691	1,471	1,595					
事業内容・目標達成状況の振り返り	26年度は、業務改善の一環として、美術博物館の蓄積するデータベースの今後の管理・活用方法について検討し、まずは館内で問題を共有するところからはじめた。とくにクラウド上でのデータベース管理構築に向けて検討してみたものの、新規事業として予算化するには難しく、27年度の予算化は見送った。他館の例等も参照しつつ今後も引き続いて検討していきたい。											
改革改善の考え方	①問題点	資料の各データベースは専門的で、また個人情報を含むこともあるので慎重に検討しなければならない。また独自サーバでのWeb公開はシステムが複雑で専門知識が必要なため管理が困難である										
	②改革提案	資料のデータベース公開に当たっては、全国の博物館の動向を見ながら、安全で管理しやすく、かつ伊那谷研究団体連絡協議会等から意見を聞きながら、利用しやすいデータベースシステムを検討したい										